

# ピアノコンサート

2019.5.31(金)

16:00～16:45

国立国際医療研究センター病院  
地下1階アトリウム

NCGM hospital  
B1F Atrium

## ～プログラム～

- ショパン：ノクターン第2番 Op.9-2
- ショパン：ワルツ第6番「子犬のワルツ」
- ショパン：ワルツ第9番
- ショパン：ポロネーズ第6番「英雄」
- ショパン：「24の前奏曲」より第4番
- ショパン：「24の前奏曲」より第15番
- リスト：愛の夢第3番
- リスト：ハンガリー狂詩曲第13番

※お知らせは、病院ホームページ上でもご覧いただけます  
患者サービス・ボランティア・接遇委員会



鈴木 啓資

Keishi Suzuki



静岡県島田市出身。静岡県立藤枝東高等学校を経て、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。ハンガリー政府給費奨学生として、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学(リスト音楽院)ピアノ修士課程を首席卒業。大学3年次に大学より短期留学奨学金を得て、フィンランドのシベリウス音楽院に留学。2017年、世界的なリストの権威、Leslie Howard氏が審査委員長をつとめる、The Liszt Society International Piano Competition (イギリス)で優勝。氏に音楽性と才能を認められた。平成30年度 島田市芸術文化奨励賞受賞(史上最年少)。この他にも国内外で受賞を重ねている。

ピアノデュオにも力を入れており、大学3、4年次の学内試験においてトップの成績を修め、修了演奏会に出演。大学の学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会に出演。第37回ピティナ・ピアノコンペティション2台上級部門ベスト4賞など、アンサンブルでも高い評価を受けている。また、指揮者としての活動もしており、とりわけ弾き振りには積極的に取り組んでいる。日本のみならず、留学先のハンガリーではAnima Musicae室内管弦楽団と弾き振りで共演するなど、海外においても弾き振りの活動を行っている。

アルディフィルハーモニー管弦楽団主宰、エト・フィルハーモニクスゼネカー指揮者。現在、東京音楽大学大学院博士後期課程2年に在籍。ピアノを村上隆、ガーボル・ファルカシュの各氏に、指揮を野口芳久氏に師事。ピアノおよび指揮活動を活発に行うとともに、後進の育成やラジオ番組出演など、幅広い活動を繰り広げている。2018年3月、デビューアルバム「Memories from Eastern Europe」を発売し好評を得ている。